

# 中村絃子の巻

ゲスト アイザック・スターン

バイオリンに慣れるまで どのくらいですか

新しい女の人に慣れるのと同じですよ

中村絃子さんの最後の相手は世界的バイオリニストのアイザック・スターンさんです。六歳でピアノを始め、八歳からバイオリンと本格的に取り組んだ人。さぞかし、繊細な芸術家肌の人かと思ったら、暗黒街の親分といったすごいものがある人でした。まさに音楽界の「巨人」という感じの話しっぷりでした。



中村 もう日本に来られるのは十回目とうかがいましたけれども。

スターン 何回か忘れました。七回から十回の間ぐらいじゃないでしょうか。

中村 資料を見ますと、一九五三年が初来日でいらして、ということは三年に一度ですね。

スターン べつに三年ごとにと決めてはいるわけではございません。そのときの仕事量により異なります。

去年は、私が六十歳になった年で、いちばん忙しい年だったのです。パリには七週間いたのですが、

その間に協奏曲を二十五回演奏して、リサイタルを十七回やりました。二つの違うオーケストラと協奏曲をやりました。演奏の間にお、オーケストラの練習を見てあげて、たいへん忙しいスケジュールをこなしたのが去年だったのです。

中村 日本人は働きすぎるといわれていますけれども、お話をうかがっていると、まさに働きすぎでいらつしやるわけですね。そのスタミナはどうやって……。

スターン いいえ。自分のどこからスタミナが出てくるのか、自分でもあまりはつきりしないんです。たぶんエネルギーは、頭脳からくるんじゃないかと思っております。

中村 あるときに、私がちよつと太りすぎまして、ダイエットを決心したんです。一日千カロリに抑えて、一週間続けましたら、

一週間後に、なんと二・半やせたんです。一週間後に演奏会があつて、いつもでしたら簡単に弾けるパッセージで、途中で息切れしてしまいま

した。スターン 疲れたからでしょう。

中村 血糖値が減っちゃったらしいんです。それで、つくづく、食べなきゃピアノは弾けないと思つたんです。

スターン そういうときは、舞台に上がる十五分ぐらい前に、お砂糖を一かたまり食べればいいんです。

中村 要するに血糖値を上げるということですね。私はそれ以来、演奏というのは、まず食べることだと思つて。

スターン 私の場合、もし三〇磅(約十三・キ)体重を減らすことができましたら、気分がもっとよくなって、演奏ももっとよくなるんです。

中村 アメリカでいま、日本のスシがはやっていますけれども、スシというのはローカロリー食として最高でしょう。

スターン そうですね。スシはとっても好きです。パンクパーで、山ほど食べたんです。

中村 日本よりパンクパーのほうが、ネタが新鮮で安いでしょ。

スターン とってもおいしかったですけど、種類がちよつと違つ

# 異色対談 女が語る

108



中村「初めての  
スターン」半年以上。

たようです。

上野にとつてもすばらしいスシ屋さんがあるんです。目立たない路地にあるスシ屋なんですけど、店の中に水槽があつて、すばらしい鯉を飼っているんです。たいへん高いんですが、今週もう一回行って食べてみようかと思つています。

中村 こんなにしょつちゅうご旅行なさつて、ご家族は？ いつても一緒ですか。

スターン

子供たちが小さいころは、よく一緒に旅行しました。子供が六歳になるまでは、ヨーロッパに二、三回一緒に行つていました。

中村 お子

さまは何人？

スターン

三人。娘が二十五歳で、上の息子が二十歳、下の息子が十七歳です。

中村 音楽をなさつていらつしやいますか。

スターン 音楽は演奏しますけど、プロの演奏家ではないです。

娘は、キリスト教信者ですがユダヤ教を勉強していて、いずれ司祭になるんです。上の息子は、ハーバード大学をこれから卒業するところです。アメリカの歴史を勉強していたのですが、これから音楽を勉強したいといつています。

下の息子は、十八歳になるんです。もう背が六センチくらいあります。

## 芸術家にコンクールは必要ない

中村 私ね、その話をうかがつて思い出したのですけれども、モスクワに演奏会で行きましたときに、もう亡くなりましたけれどもヤコブ・フリエールというピアノリストにお会いしたんです。行き

ましたら、奥さまがちょうど花を生けていらしたんです。私が「わあ、きれいなお花ですね」と申しましたら、「これは、レオニード・コガンのお嬢ちゃんがつけてくださったのです」とおっしゃって、それからフリエールさんが大変しういお顔で、「ギレリス

で、たいへんハンサムで、エール大学に入るつもりにしています。

やはり音楽を勉強したがつています。べつに私はすすめてはいないのですが。あまり音楽には興味を持たないように仕向けてきたつもりだったんです。

なぜかといいますと、音楽家としてのキャリアを積み上げることがたいへんむずかしいことです。悪名高き父親を持つておりますので、プロの音楽家になろうとすると、彼らはつらい目にあうんじゃないでしょうか。（笑い）

中村 私ね、その話をうかがつて思い出したのですけれども、モスクワに演奏会で行きましたときに、もう亡くなりましたけれどもヤコブ・フリエールというピアノリストにお会いしたんです。行き

ましたら、奥さまがちょうど花を生けていらしたんです。私が「わあ、きれいなお花ですね」と申しましたら、「これは、レオニード・コガンのお嬢ちゃんがつけてくださったのです」とおっしゃって、それからフリエールさんが大変しういお顔で、「ギレリス

中村 とつても賢明ですね。

スターン むしろ経験を積んだからこういうことがいえるんだと申し上げておきたいのです。

中村 ギレリスのお嬢さんもコガンのお嬢さんも、パパにだけは絶対に習わないといつていました。

スターン それは正しいです。

親について勉強するということは  
ほとんど不可能だと思います。  
常になれなことです。

中村 スターンさんご自身のキ  
ャリアには、コンクールは……。  
スターン コンクールに出られ  
るほど上手じゃないと思ったので  
出たことありません。

中村 でもね、コンクールなし  
で、世界的にこれだけの名声を築  
き上げた方というのは、むしろ非  
常にまれなことですね。



バイオリンも新しい女と同じ。慣れるのに時間がかかる え・小 島 功

スターン オイストラフさんや  
コーガンさんはコンクールに出た  
ことありますけれども、コンクー  
ルで入賞したからすぐれた芸術家  
だというのはなくて、それに関  
係なく素晴らしい芸術家だったん  
です。私は、コンクールにはあん  
まり大きな価値があるとは思って  
いません。

コンクールに入賞なさったり賞  
を得た方で、その後プロの演奏家  
として素晴らしいキャリアを築き  
上げていないという方もたくさん  
いらつしやいます。

コンクールは、一九三七年から  
始まったんです。その年にオイス  
トラフさんが一等を取られたんで  
す。コーガンさんの奥さんのリー  
ザ・ギレリスさんが、やはり入賞  
なさった。その後、コーガンさん

も賞を取られました。

結局、自国では音楽家としての  
キャリアを自由に築き上げること  
ができないような国々から来た人  
がコンクールに出られて賞を得て  
やがてキャリアを築き始めたこと  
で、コンクールに対する人々の印  
象を決めたんじゃないでしょう  
か。そして、東欧諸国の諸政府が、  
これをプロパガンダとして非常に  
すばらしいと思いはじめたんじゃない  
かと思います。しかし音楽はオ  
リンピックとは違いますからね。

中村 たとえばコンペティショ  
ンということで、反射的に私たち  
ピアニストが思い出すのはバン・  
クライバーンですね。彼は大きな  
コンクールに対する憧れというも  
のを、一般の若い音楽家たちに植  
えつけてきたと思うんです。

## バイオリンはワイン熟成に似て

スターン ……こういう公開の  
場で、このことについて何か申し  
上げるのは、ちょっときついんで  
すけど、バン・クライバーンが賞  
を取った時期というのは、アメリ  
カ人の演奏家であるバン・クライ  
バーンがソ連で大きな賞をとるこ  
とが、ソ連という国にとって政治  
的な重要な時期であったというこ  
とは申し上げられます。

中村 でも、実際にすばらしい  
演奏はしたんですね。

スターン もちろん彼はすばら  
しい演奏家です。

中村 その後、だめになっちゃ  
ったんですね。

スターン ちょっとこの話題は  
やめましょう。ただ、これだけは  
申し上げておきます。もしあのコ  
ンクールの賞を得なかつたら、彼  
のキャリアは違っていたのではな  
いか。もしかしら、音楽的にも  
っと豊かな、もつとすばらしい音  
楽家になっていたかもしれない。

中村 ところで、スターンさん  
は西欧諸国以外の国では、どこへ  
いらつしやったことがおありで  
すか。

スターン まず中国です。

中村 アフリカへは？

スターン アフリカは行ったこ  
とはございません。南米は行った  
ことがあります。それからオース  
トラリア、もちろん東ヨーロッパ  
にも。

中村 ミルシテインさんのお話  
だったと思いますけれども、ある  
ときに南米の税関で、バイオリン  
を「これはなんだ」と聞かれて、  
「私はバイオリンリストだから、バ  
イオリンに決まっていますでしょ  
う」といったら、信じてくれなか  
ったそうです。それで「本当にバ  
イオリンリストなら弾いてみせろ」  
といわれたんだそうです。

スターン ほんとうに？

中村 ええ。彼は、仕方がない  
んで弾いたんですって。そうした



ら税関吏がみんないつせいに、わあーって「おれが勝った」  
「おれが負けた」といつて、おカネのやりとりをしているんですって。

スターン オー・ノー。本当に弾いてくれるかどうか、賭けをしていたんですね。(笑い)

中村 いつもバイオリンは膝にかかえてお持ちになるのでしょうか。席をもう一つ取ってお乗りになるのでしょうか。

スターン バイオリンはいつも身のそばに置いてあります。バイオリンストは取り換えることができますけど、バイオリンは取り換えられません。

中村 失礼ですけど、いま持っていていらっしゃる楽器は何ですか。

スターン ガルネリウスです。

中村 いつも思うんですけれども、ピアノの場合は、古くなると

だめなんです。消耗品なんです。

スターン バイオリンは、ワインのように熟成していきます。

中村 ただ、そのピークがあるというようにお聞きしましたけれども。

スターン しかし、ほんとうにピークがあるかどうかは、わかっていない。もう四十年も持っているバイオリンの音が、さらに熟成することすらあります。

中村 私が聞いたところでは、ストラディヴァリウスとかガルネリウスといった名器は、今世紀の終わりから来世紀の初頭にかけて

## 自分の音を出すには半年かかる

中村 私はバイオリンを弾きまわすので知らなかったのですが、子ども、弓というのはずいぶんお高いものなんです。

スターン オ、それはバイオリンより高い場合があります。

中村 そうですか。おかしな話があるんです。私の友

で、ピークを過ぎてしまおうとか。

スターン そうかもしれませんね。

バイオリンをつくるときの技術的な工夫や秘訣がなされたのは一七〇〇年代が最高だったんです。いま世界には、四百から五百丁ぐらい、ストラディヴァリウスがあるんじゃないかと思いが、そのうち百五十丁ぐらいがトップクラスのもの。もっと少ないかもしれません。ガルネリウスのほうは百丁以下で、そのうち四十丁ぐらいがトップクラスでしょう。

中村 いえ、ほんとうの話です。スターン そのバイオリンストの方は、「矢はあなたがたの胸に

達でバイオリンストがいて、やっぱり税関の話なんですけど、外国から日本へ帰ってきて、弓の箱を持っていたんですね。「これはなんですか」と聞かれて「弓です」といったら「矢はどこですか(笑い)」。

スターン それはジョークでしょう。

中村 いえ、ほんとうの話です。スターン そのバイオリンストの方は、「矢はあなたがたの胸に

達でバイオリンストがいて、やっぱり税関の話なんですけど、外国から日本へ帰ってきて、弓の箱を持っていたんですね。「これはなんですか」と聞かれて「弓です」といったら「矢はどこですか(笑い)」。

スターン それはジョークでしょう。

たいへん不幸なことに、バイオリンは、あちからちへと手に渡り

こちらからあちへと手に渡りやすいものなんです、いままでの歴史の中で。シンガポールや香港や、日本、ドイツで、コレクターがバイオリンを買ってしまうことがあるのです。そのバイオリンの価値をあてにして。

その結果、どういうことが、起こるかといいますと、若いバイオリンストが、バイオリンが手に入らなくなってしまうんです。若い演奏家向きのバイオリンであるガダニーニが、私が若かったころですとだいたい四千ドルから六千ドルぐらいで買えたのが、いまは十万ドルぐらい出さないと買えなくなっちゃったんです。だんだん数が少なくなっていますね。

中村 日本でもそういうコレクターが何人かいるそうです。

どんな名器でも、他人が弾いていた名器を譲り受けてご自分のものとされた場合に、ご自分の音を出すまでには相当かかるのではありませんか。

スターン 自分の手に慣らせるのはわりに早くできるんですけど、でも、本当の自分の音を出すようになるまでには、やっぱり半年以上かかります。

中村 日本でもそういうコレクターが何人かいるそうです。

どんな名器でも、他人が弾いていた名器を譲り受けてご自分のものとされた場合に、ご自分の音を出すまでには相当かかるのではありませんか。

スターン 自分の手に慣らせるのはわりに早くできるんですけど、でも、本当の自分の音を出すようになるまでには、やっぱり半年以上かかります。



# Rodenstock

選ばれた  
男のメガネ  
Mr. R

輸入総代理店/CS中央産業貿易株式会社ローデnstock事業部



中村 そんなに？

スターン 新しい女の人に慣れるまでにかかる時間と同じくらいです(笑)。一緒に生涯住むというになると、話はちよつと別ですけども、ロマンチックな期間というのは短いものです。

中村 アイザック・スターンさんという思い出すのは、カーネギーホールを非常に援助していらつしやるということですね。以前、カーネギーホールをつぶしてしまつたという話が一度ありましたね。

スターン 一九六〇年に、取り壊してしまおうという話があったんです。で、一九六〇年一月九日に私のアパートに音楽家のグループを集めまして、あれを救おうと相談して、大キャンペーンを展開したわけなんです。そして六〇年の七月に、ホールそのものが、指定文化財みたいなものに決められたんです。ですから個人的に売り買ひすることはやめさせられたんです。

中村 要するに、その九十年というのは、クラシック音楽の爛熟期から演奏音楽のいちばん最盛期ですね。

スターン そうとばかりは、いえないんじゃないかと思ひます。

中村 つまり交通事情の問題とか、そろいつたいろんな面から、いわゆるマーケットとして活用できようになった。

## 音楽に対してもつと知的理解を

中村 なぜ、つぶそうということになったのでしょうか。

スターン ニューヨークというあれだけの大きな人口を持つ都市で、音楽あるいはコンサートというものが、とれだけの意味を持つかということに対する知的な理解が足りなかつたからでしょう。

スターン 中村さんも、ぜひ音楽でよりしあわせな、よりすばらしい歳月を過ごされますようにお祈り申し上げます。

中村 どうぞ、いつまでもお元気で、いい演奏をお聴かせください。

スターン 中村さんも、ぜひ音楽でよりしあわせな、よりすばらしい歳月を過ごされますようにお祈り申し上げます。

スターン ニューヨークというあれだけの大きな人口を持つ都市で、音楽あるいはコンサートというものが、とれだけの意味を持つかということに対する知的な理解が足りなかつたからでしょう。

スターン ニューヨークというあれだけの大きな人口を持つ都市で、音楽あるいはコンサートというものが、とれだけの意味を持つかということに対する知的な理解が足りなかつたからでしょう。

スターン 中村さんも、ぜひ音楽でよりしあわせな、よりすばらしい歳月を過ごされますようにお祈り申し上げます。

中村 どうぞ、いつまでもお元気で、いい演奏をお聴かせください。

スターン 中村さんも、ぜひ音楽でよりしあわせな、よりすばらしい歳月を過ごされますようにお祈り申し上げます。

## あなたも試してみませんか？



養命酒は、胃腸を丈夫にするために：食欲をつけるために：血色不良や冷え症を良くするために：体力をつけるために：というように、体が弱い方のそれぞれの状態に合わせてお役立ていただいております。

もし、あなたが、このような症状でお悩みでしたら、一度、養命酒をお試しになつてみませんか？

養命酒には、地黄、芍薬、益母草、うこん、いんようかく、紅花、烏樟、薬用人参、桂皮、防風、丁子、はんび、肉蓯蓉、杜仲、というような自然の生薬が混然となつて溶けこんでいます。そして、これらの生薬の有効成分が血行に伴われて体内をめぐる、滋養強壯剤として新陳代謝を活発にしながら、体の働きを整え、からだ自体を次第に丈夫にします。

一日三回、食前、あるいはおやすみ前に少し(20ml)ずつお試下さい。

☆進呈 養命酒について、もつと詳しくお知らせしたい方は、150東京都渋谷区南平

台16-25-70 養命酒製造所へおはがきを下さればとあなたにもすぐ、詳細説明書をお送りいたします。

### 滋養強壯に

## 養命酒

〈効能〉滋養強壯剤として、胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、肉体疲労、虚弱体質、病中病後に効果があります。